

福岡県飯塚市幸袋 築120年古民家『聴福庵』 2017年のあゆみ⑫

第46号 2018年1月15日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社ガヤ 奥山卓矢

新年を迎えた『聴福庵』

『聴福庵』は2度目のお正月を迎えました。
今回は1月4日～10日まで、『聴福庵』に滞在しお正月を
過ごしました。その様子をご報告します。

2018年1月4日(木)

移動日

2018年1月5日(金)

『聴福庵』の離れ(お風呂小屋)塗装(外装は渋墨、内装は柿渋)
新年会準備

2018年1月6日(土)

NIT社との合同新年会(『聴福庵』を会場に新年会の実施)

2018年1月7日(日)

『聴福庵』の離れ(お風呂小屋)塗装(外装を渋炭塗り)

2018年1月8日(月)

『聴福庵』の離れ(お風呂小屋)塗装、松陰神社参拝

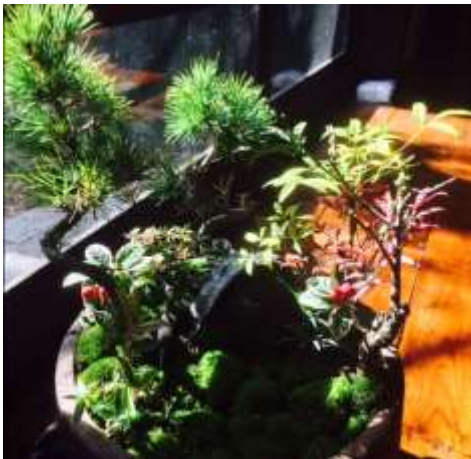
2018年1月9日(火)

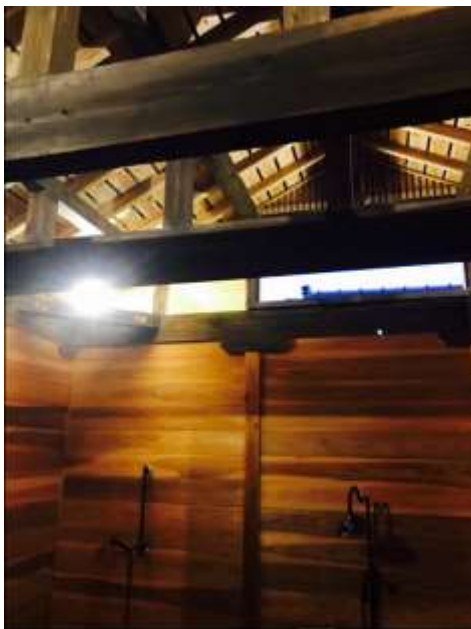
初心会議

2018年1月10日(水)

掃除、移動日







柿渋と渋墨で塗装を施しました

聴福庵を通して感じること

井戸を掘り、樽は漬物屋から譲ってもらい、屋根の瓦は、瓦職人に教わって葺き、踏み石は石屋さん、大工や左官、多くの職人さんが関わり、ついに聴福庵の離れが（風呂小屋）完成しました。

露天風呂の如く、洗い場は寒いのですが湯船に浸かると、言葉にならない「はぁ〜」という声がつい漏れてしまいます。

湯の温かさはもちろんなのですが、井戸水を沸かした湯に足を伸ばして浸かれる『聴福の湯』は有名温泉にも劣らないと思うのです。

夏の井戸掘りは汗水垂らして作業に当たり、色々な想いも相まって浸かる湯の温かさは、極楽そのものです。

聴福庵の冬の道具に、炭炬燵があります。炭炬燵に入っていると、温泉に入っているような気分になるほど、こちらも温かいのです。

お正月ということもあって、お酒も入り誰も彼もご機嫌になってしまいます。子どもの頃は子どもの頃で、お年玉をもらったり、久しぶりに会う従妹と遊んだり、子どもなりに楽しんでいました。

聴福庵でのお正月は、またそれとは違う感覚がありました。人が集まり賑やかに笑う。当たり前のことなのかもしれませんが、そこに、改めて豊かさを感じました。

かつてあった日本のお正月の景色と、現在進行形で迎えたお正月。聴福庵は、その橋渡しをするような姿があるように思います。新しい年を迎え、心新たに1年臨んでいく所存です。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)

●過去のバックナンバー

第43号

リーダー研修 2017 後編

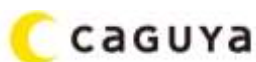
第44号

HAPPY NEW YEAR!

第45号

新宿せいが子ども園 OB 父親保育

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2号館 10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢



メールマガジンのご登録は、QRコードからお願いします。